



LDH test NAGATA



主力商品 LDH test NAGATA / MUGIBASE

- 本社所在地：兵庫県宍粟市
- 事業概要：小麦澱粉・たん白、食品改良剤、焼麩、酵素
- 常時使用する従業員：90名（2025年6月時点）
- 現在の売上高：43億円（2024年12月期）
- 法人番号：3140001039095
- Web：https://www.nagatasangyo.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
田中 万里

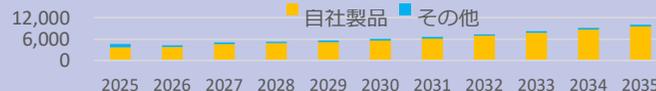
地域の為に、力を尽くす

長田産業は1953年創設以来、宍粟市で小麦澱粉・たん白の製造販売を柱として事業を進めて参りました。私たちのコアにある考え方は、得意先のみならず仕入先、そして事業を行う地域や従業員を大切にすることです。私たちが事業を行う宍粟市は人口減少が進み、今後厳しい経営環境が予想されます。この現実に対抗するために、私たちが出来ることは一つ。健全な雇用を拡大・維持する事に依って、豊かな地域を作ること。この目標を達成するための合言葉は、「団結・利他・自分事」。社員一丸となり、100億円の売上を目指して参る所存です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2025年の売上高100億円達成に向け、平均年率8%程度の成長を目指します。



課題

- ①ミックス粉製造事業の再編：事業の最適化と生産性向上
- ②MUGIBASEの販路拡大：東南アジア、特に台湾/中国への販売拡大・市場開拓
- ③SD受託先拡大：HALAL、KOSHERに対応するSDの稼働
- ④業務のデジタル化：デジタル技術を使用した業務の効率化と省人化の推進
- ⑤事業規模拡大に向けた人材の育成；社員の多能工化の推進
- ⑥新規事業の販売拡大：歯周病試験紙LDH test NAGATAの販売増

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 5つの目標を掲げて取り組みます。
- ①ミックス粉製造事業：製造工程の集約化・合理化・生産能力増を実現する工場移設
 - ②澱粉たん白部門：デジタル技術を活用した業務の省力化・自動化を実現する工場新設
 - ③バイオ部門：SD機械を1台増設し、3台稼働による製造拡大
 - ④MUGIBASE：増産のための工場増設
 - ⑤LDH test NAGATA：増産のためのプラント移設

実施体制

- ・社長直轄での会社の未来を描く委員会（各部の部長を中心に）を立ち上げ、製造工程の集約化・効率化の実現を目指した工場移設及び新設を計画・実施
- ・営業部を中心に東南アジア向けの得意先の開拓並びに既存得意先との連携強化
- ・デジタル技術を活用した製造工程の省力化・自動化の実現
- ・社員のスキルアップを目指し、多部署での教育訓練を実施
- ・競合他社との差別化・自社の優位性を活かした販路開拓

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現目標

長田産業は、売上高100億円の実現に向けた成長手段として掲げる5つの目標事業それぞれの売上を以下の通り計画しております。

①ミックス粉製造事業 = 輸入小麦たん白のリパック事業 + ミックス粉製造販売事業…工場移設を2027年度までには完了し、生産設備の集約・合理化に依り生産能力増を進め、2035年の売上高35億円を目指します。特に、ミックス粉製造については最低賃金増や食品製造業の人手不足の観点からサービスの需要が大きく増進すると想定され、この需要の取り込みを目指します。

②澱粉蛋白事業 = 小麦澱粉たん白製造販売…小麦澱粉たん白の国内製造トップシェアを維持しながら、2035年まで年率2%の成長継続を目指します。

③バイオ部門 = SD委受託加工事業…2027年度にSD1台増設を計画し、合計3台稼働による製造拡大で2025年の売上高7億円から2035年には売上高12億円を目指します。

④MUGIBASE = MUGIBASE…2028～2029年度までに工場増設を完了し、東南アジアでの市場開拓に依る販売拡大に比例して製造量を増大させ、年率20%～40%へと成長伸長し、2035年の売上高6億円を目指します。

⑤LDH test NAGATA = LDH test NAGATA…プラント移設を2026年度までには完了し、販売量増大に対応する製造体制を確立し、2035年には売上高10億円を目指します。2025年度に国民皆歯科検診が義務化されることから、競合他社との差別化と自社の優位性を高めた製品の品質保持に努め、歯周病試験紙の需要拡大に伴う販売拡大を目指します。

